

住吉区の教育関連事業

1. 不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業

目的: 教室に入れない生徒や不登校傾向にある生徒が安心して登校できる居場所や学習ができる環境を区内中学校に整備するための支援を行う。

内容: 使用していない教室等を活用して机や椅子、パーテーションなどを配置する。

令和7年度事業予算: 3,189千円(校長経営戦略支援予算)

その他: 平成29年度から実施していたSSWに代わる新規事業として、令和7年度から実施。

2. 「すみよし学習クラブ(ジュニア)」及び「すみよし学習クラブ」

自主学習習慣づくり支援事業

目的: 区内の児童・生徒の自主学習習慣の定着と学習意欲の喚起、各学年・各児童生徒の習熟に応じた基礎学力向上を目的とし、民間事業者と協定を結び、放課後の学校施設を利用して学習支援を行う。

内容: ○すみよし学習クラブ(ジュニア):

対象: 実施校在籍小学5・6年生

(オンラインは区内在住の小学5・6年生が受講可)

場所: 遠里小野小学校、清水丘小学校、南住吉小学校、苅田北小学校、
オンライン

科目: 国語、算数、英会話

※週2日、1日2コマ、各校30名程度(オンラインは10名程度)

費用: 月額5千円(大阪市習い事・塾代助成事業の利用も可)

○すみよし学習クラブ:

対象: 区内在住の中学生(希望者はオンラインでも受講可)

場所: 遠里小野小学校、我孫子中学校、墨江丘中学校

科目: 国語、数学、英語(定期試験前等は理科、社会も学習可)

※週2日、1日2コマ、各校30名程度

費用: 月額1万円(大阪市習い事・塾代助成事業の利用も可)

令和7年度事業予算: 496千円(校長経営戦略支援予算)

その他: 令和6年度から小学5・6年生を対象としたすみよし学習クラブ(ジュニア)を実施。

3. 「漢字検定チャレンジ支援」自主学習習慣づくり支援事業

目的: 漢字学習を通じて学習意欲を高めるとともに、自主学習の習慣をつける。

内容: 区内の小学校に通う児童（小学3～6年生のうち学校が選択する2学年）が漢字検定を受検することができるよう、検定料の支援を行う。

令和7年度事業予算: 4,145千円（校長経営戦略支援予算）

その他: 令和3年度から事業実施。受検対象を小学4～6年生のうち各学校が選択する2学年としていたが、校長からの意見を受け、令和6年度から小学3～6年と対象学年を拡大した。

4. 「学校園補助スタッフの活動支援」学校園教育活動支援事業

目的: 学校園の課題に応じて活動する補助スタッフが、継続的に学校園をサポートすることができ、児童・生徒・園児がより充実した学校園生活を過ごせるよう支援する。

内容: 補助スタッフに対して、活動実績に応じた報償金を支出する。

令和7年度事業予算: 5,375千円（区まち予算）

その他: 令和3年度から事業実施。学校園でのボランティア活動に興味のある方を登録するボランティア人材バンクについては、令和2年度より事業実施。

5. 「福祉施策ガイドブック」の作成

目的: 学校における不登校支援にあたり、どの福祉的行政サービスが必要・適切であるかを教員に示すとともに、教員が保護者に、適切な行政サービスを受けるよう提案しているよう、冊子を作成する。

内容: ガイドブックを区内小中学校・幼稚園に配付し、区ホームページにも情報を掲載する。

令和7年度事業予算: 126千円（区まち予算）

その他: 平成30年度より作成しており、毎年度更新。